

2009年9月15日（火）9:00-9:20

主催者挨拶（2日目趣旨説明）

出井 伸之 クオンタムリープ株式会社 代表取締役

1日目は大変盛り上がる会議ができました。ネット上でもTwitterに560人を超えるフォロワーがつき、いろいろな意見が出たようです。昔ならば会の中だけで完結していたコミュニケーションが外に広がるようになったのは大変よいことだと思っています。

1日目おられなかった方もいらっしゃるので、簡単に本会の趣旨について述べたいと思います。まず今年で3年目となる本フォーラムは昨年まで福岡のみなさんにご協力いただき実行してきた企画でしたが、政策提言などこれまでとは違ったフォーラムができるのではないかと思い、今年は福岡から東京に場所を移し、また例年は7月に開催していたフォーラムを、政権交代の時期を予想して9月に開催することにいたしました。今日でリーマンショックから一年という節目の時期でもあります。今年は、日本経済新聞・一橋大学大学院国際企業戦略研究科との共催の形をとることができ、一層パワーアップしました。二日間のサマリーは10月半ばに日本経済新聞本誌に掲載する予定です。

今回のテーマは「地球の限界 アジアの成長 日本の責任」と非常に高めのボールを投げています。このタイトルは、40-50代の各界の若手・中堅リーダー約20名から成る「Group 20」のメンバーが、月1回集まってディスカッションをする中で出てきたものです。日本がアジアの中でどのようなポジションをとるかは重要なであると考え、アジアの人々との協働を呼びかけてきましたが、国の成長段階が違い、また戦争中の歴史認識の違いはいまだに深い根を下ろしていることも感じます。

昨日のディナーセッションでは、イ・チョルフィ氏（韓国資産管理公社 CEO）が、「来年は日本と韓国の不幸な関係（1910年日韓併合）から100年目にあたるが、両国の明るい未来を作るために知恵を出さなければならない」と仰っていました。フィリピンのアジア・ビジネス・カウンシルでアジアのCEO70名と一緒にいた時も、日本に対しては腫れ物に触るような気の使い方で、日本の戦後復興は終わっていないのではないか、日本の側から変わらなければアジアと一緒に仕事できないと強く感じ、敢えてタイトルに「日本の責任」という言葉を使いました。

昨日は地球や人間圏をシステムとして捉え現在の世界の課題を抽出し、また世界の金融についてアジアの抱える問題と日本の役割について論じました。地球も人間圏もシス

テムであるという松井孝典教授のお話は、多くの方の胸に刺さったようです。特に金融系の方が関心を示したのが、ホモサピエンスは長期で考えるのに対して動物は短期という議論で、金融の人が動物的という点でした。

世界の金融の基本的なシステムはそう簡単には変わらないのではないかと感じます。昨日のオバマ大統領の演説でも、規制が必要といった程度の議論に留まっており、抜本的な新しい策も打ち出されていません。当面は中国頼みであると、言外に小手川大助さん(IMF 理事) の言葉からも読み取れました。

また、日本はシステム破綻しているのではないかと議論が大変盛り上がりました。例えば、グローバル企業が外国で稼ぐことと、日本人の生活は実はまったく関係ないのではないかと。昔は企業で一生懸命働いていれば日本に貢献できたが、今はそんな風には思えないのではないかと。

もう一点は、縦割り行政の中でバラバラに動くのではなく、例えば東京電力、大阪ガス、または東京都水道局などが一貫してシステム構築に取り組み、海外に出せるモデルを作ってみてはどうかという議論が出ました。また、国のシステムとして止まっているお金の流れをどうするかという議論もありました。その中では、民主党に対する期待も大きかったように思います。

天津では、中国とシンガポールが協働する壮大なエコシティ・プロジェクトが進んでいます。日本は果たしてこのような国と国との協働プロジェクトができるのでしょうか。外ではすでに 21 世紀的な変化が起こっているのに、日本がいまだに既存システムの中で頑張るといった発想では、世界についていけないという議論が多かったように思います。

本日はこれから各論に入り、エネルギー、新しい送配電システム、次世代の IT・通信、アジアのインフラ、ボトム・オブ・ピラミッド (BOP) ビジネス、都市の新しい交通システムなどについて議論する予定です。また、「Think Global, Act Local」を実践する福武総一郎さんからは、ベネッセが企業と文化のかかわりをどう考えるかについてお話を伺います。またランチセッションでは GM、ポルシェ、フェラーリ、マセラッティ・クワトロポルテなどをデザインされた奥山清行さんにお話いただく予定です。アブダビのマスダール計画にもプロジェクトを提案しておられる奥山さんが、どんな新しいアイデアをお持ちなのか大変興味深く思います。

結論を一つにまとめるつもりはありませんが、最後に二日間の議論を踏まえて何らか

の問題点を出し、新しい政治にも反映できる仮説が生まれることを願っています。昨日もフロアから活発なご質問が出ましたが、引き続き積極的にご参加いただければよりよいフォーラムになると思います。
